

## TOKYO ART BOOK FAIR 2025

今年で15回目を迎えるTOKYO ART BOOK FAIR(以下、TABF)は、初めて2週末にわたり開催されます。週末ごとに出展者を入れ替えながら、アート出版の国際的なコミュニティを広く受け入れるプラットフォームを目指します。

※ TABF2025のゲストカントリー、展覧会、スペシャルブースなどについてご紹介するプレスリリース第一弾は、以下よりダウンロードください。

<https://drive.google.com/file/d/1BLsers9ayQFfVEg0BQ8rXjkc5w6mQHEV/view?usp=sharing>



### 〈TABF Talent Award〉

TABF2025では、新たな才能の発掘と支援を目的に掲げ、全出展者を対象とするアワード「TABF Talent Award」を開催します。今年は初めて2週末にわたりフェアを開催し、週末ごとに出展者を入れ替えます。各週それぞれ3組の選者が「最も推したい出展者」を1組選出し、受賞者は各週末の最終日13時に発表されます。6組の受賞者には、アーティスト長谷川有里による TABF 特製トロフィーが授与されるほか、選者より副賞が贈られます。

#### WEEK1選者



中村至男(グラフィックデザイナー / アートディレクター )

副賞:次回 TOKYO ART BOOK FAIR でのブース提供 ※1

川崎市生まれ。日本大学芸術学部美術学科卒業後、ソニー・ミュージックエンタテインメントを経て1997年独立。グラフィックデザインを中心には、広告、絵本、CI、デジタルコンテンツ、映像、イラストレーション、ブックデザインなどを手がける。



グレガー・ウルフ・ニルソン(アートディレクター／デザイナー／キュレーター)

副賞: Sigma BF ※2

写真芸術への深い探求心を原動力とするアートディレクター、デザイナー、キュレーター。これまで世界的に著名な写真家たちと協働し、多数の芸術書を手がけてきた。Sigma Foundationの2冊の創刊写真集では、編集者兼ブックデザイナーを務めている。



SPRINT(実験的出版プラットフォーム)

副賞: SPRINTへの作品収蔵

2013年にミラノで創設された実験的出版プラットフォーム。年に一度、アートブックフェアも主催している。本アワードでは、ファウンダーであるアーティストのダフネ・ボジェリ(写真右)と、SPRINTの一員である写真家のエリアン(写真左)が選者を務める。

## WEEK2選者

加藤直徳(「NEUTRAL COLORS」編集者)／加納大輔(「NEUTRAL COLORS」デザイナー)  
副賞:「NEUTRAL COLORS」が企画する「NEW COVER」での作品取り扱い ※3



加藤直徳

編集者。出版社NEUTRAL COLORS主宰。雑誌NEUTRAL COLORSを中心に書籍、アーティストブックなどを手掛ける。経済的に持続可能な中規模出版モデルを目指している。



加納大輔

グラフィックデザイナー。2019年よりフリーランスとして活動。雑誌「NEUTRAL COLORS」のADを務めるほか、写真集・作品集のブックデザイン、美術館の展覧会広報物など、文化・芸術に関わる仕事を中心に活動。2022年より多摩美術大学版画専攻にて非常勤講師を務める。



ロジャー・ウィレムス(Roma Publications ディレクター)

副賞:Sigma BF ※2

1969年生まれ。グラフィックデザイナー。1998年、アーティストのマーク・マンダース、マーク・ナグザームと共に出版社Roma Publicationsを設立。彼ら自身の作品集を出版するほか、同時代のオランダ作家の作品を発表するプラットフォームとして、現代美術に特化した出版活動を行う。



レニー・ティン(Singapore Art Book Fair ディレクター)

副賞:Singapore Art Book Fair でのブース提供 ※1

シンガポールに拠点を置くアートブック関連のイベントや企画の拠点「Thing Books」の創設者。毎年開催されるSingapore Art Book Fair ディレクター。

※1 渡航費や滞在費など、出展にかかる費用は受賞者の負担となります。

※2 副賞提供:Sigma

※3 取り扱い条件には制限があります。

〈Exchanges Across Art Book Fairs in Asia〉(Week 2のみの企画となります)



Artwork by Tomoe Miyazaki

「Exchanges Across Art Book Fairs in Asia」は、アジア3カ国(シンガポール、タイ、韓国)のアートブックフェアとのコラボレーションによる交流プログラムです。シンガポールの Singapore Art Book Fair からは主宰であるThing Books、タイのBangkok Art Book Fair からは共同創設者である STUDIO150 と、彼らとフェアを共同運営する BANGKOK CITYCITY GALLERYが参加し、それぞれの国のローカルな出版社やアーティストによるアートブックを中心にブースを展開します。

韓国の Unlimited Edition – Seoul Art Book Fair からは、TABF とのブースエクスチェンジプログラム「Unlimited Mate」の招待作家である Lily Lee と OMSCIC COMICS の 2 組が出展します。「Unlimited Mate」は、2023年より Unlimited Edition – Seoul Art Book Fair と TABF がスタートした、日韓の新進作家をサポートすることを目的とした出展者エクスチェンジプログラムです。今年11月に開催された 17th Unlimited Edition – Seoul Art Book Fair 2025 では、ZINE'S MATE エリア出展者の Bong Sadhu と futaba sugiyama の2組が出展しました。

本プログラムを通じて、アジアのアートブックシーンが今までに育んでいたる多様な表現と交流の現在地を、ぜひお楽しみください。

#### 「Exchanges Across Art Book Fairs in Asia」関連トークイベント

登壇者:Renée Ting(Singapore Art Book Fair ディレクター) × Studio150(Bangkok Art Book Fair 共同ファウンダー) × 黒木晃(TABF ZINE'S MATE エリアディレクター) × 東直子(TABF プロジェクトマネージャー)

日時:12月20日(土)11:30-12:30(受付開始時間11:15)

会場:東京都現代美術館 EVENT SPACE(1F ミュージアムショップ横)

料金:無料(要当日有効のTABF入場券)

近年、アジア各都市でアートブックフェアが盛んに開催され、国際的な出版の場であると同時に、ローカルなコミュニティとしての意義も高まっています。TABFは今年、韓国・シンガポール・タイのフェアに参加し、各フェアの運営チームとの協働を進めてきました。本トークでは、Singapore Art Book Fairのレネー・ティン、Bangkok Art Book FairのStudio150を迎え、各々の実践や展望、アジアにおける新たな連携の可能性を語り合います。



#### 〈BOOK WRAPPING CORNER〉

ブルーノ・ムナーリ、中村至男、デヴィッド・ホーヴィッツの3名によるオリジナルラッピングペーパーを使って包装サービスを行うコーナーが登場します。TABFの会場で購入した本をBOOK WRAPPING CORNERにお持ちいただければ、その場でラッピングいたします。クリスマスギフトに本をプレゼントするのにも最適です。フェアでのお買い物の後に、ぜひお立ち寄りください。(有料・予約不要)

協力:八紘美術

## EXHIBITION “PACE: 65 YEARS”



Courtesy Pace Gallery

創立65周年を記念して、Paceギャラリーは、1960年のボストンでの創設から現在に至るまでの歴史の中で開催された展覧会に関するエフェメラ(招待状、ポスター、カタログなどの印刷物)を展示します。多様な資料を通して、特に1960年代からのニューヨークにおける現代美術史の重要な節目を垣間見るとともに、ジャン・デュビュッフェ(Jean Dubuffet)、アグネス・マーティン(Agnes Martin)、ルイーズ・ネヴェルソン(Louise Nevelson)、マーク・ロスコ(Mark Rothko)といったアーティストたちとPaceギャラリーの長年にわたる関係を振り返る機会ともなるでしょう。現在、Paceギャラリーはニューヨーク、ロサンゼルス、ロンドン、ジュネーブ、ベルリン、ソウル、そして東京に拠点を構えています。

展示企画・協力:twelvebooks

会場構成・什器:LUKA YASUKAWA DESIGN

### 「PACE: 65 YEARS」関連トークイベント

登壇者:牧浦知(Paceギャラリー シニア・アートディレクター) × 濱中敦史(twelvebooks 代表)

モデレーター:三條陽平(ORDINARY BOOKS)

日時:12月19日(金)15:00-16:00(受付開始時間14:15)

会場:東京都現代美術館 EVENT SPACE(1F ミュージアムショップ横)

料金:無料(要当日有効のTABF入場券)

Paceギャラリーにてインハウスデザイナー(1992年～)／シニア・アートディレクター(2020年～)を務める牧浦知をゲストに迎え、Paceギャラリーにおける印刷物に対する哲学やさまざまなアーティストたちとの制作秘話、牧浦氏にとって特に思い入れのある仕事(Kiki Smith、Lucas Samaras、Jean Dubuffet)についてなど、実際に手掛けられた印刷物を見せながらお話しします。

## 〈Sunken Lounge〉



Photo: Hajime Kato

B2FのZINE'S MATEエリアとPLAYGROUNDのあいだに位置する屋外スペース「サンクンラウンジ」は、TABFで見つけたアートブックやZINEについて語り合ったり、一休みしたりできる憩いの場です。飲食も可能で、会期中には音楽ライブやトーク、ワークショップなど、さまざまなイベントが開催されます。さらに、世界各地から集まる出展者や来場者が交流できるよう、コーヒーの試飲コーナーや、卓球(!?)を楽しめるエリアも登場！

「サンクンラウンジ」に点在するデンマークのアウトドアブランド「Nordisk」のテントでは、イベントや物販、試飲サービスなど、それぞれ異なるコンテンツを展開します。ぜひ立ち寄ってみてください。休憩スペースは、DESIGNTIDE TOKYOの協力のもと、SIXINCHとEETALの家具を使った空間で構成されます。

協力：株式会社ノルディスクジャパン、NORDISK CAMP SUPPLY STORE、DESIGNTIDE TOKYO、株式会社 SIXINCH JAPAN、株式会社日本ベネックス  
会場構成：高橋義明（東葛西1-11-6 A倉庫）

## 〈Event〉

会期中、3つの会場(EVENT SPACE、SUNKEN LOUNGE、PLAYGROUND)で約60本の多彩なイベントが開催されます。1つの国や地域に焦点を当て出版文化を紹介する「ゲストカントリー」にて特集するイタリアに関連するものから、出展者が企画するトークなど幅広いラインナップでお届けします。

### Selected Events

会期中はこのほかにもさまざまなイベントを開催します。詳しくは公式サイトをご覧ください。  
<https://tokyoartbookfair.com/events/>

**Talk Event「1980年、ニューヨークのアートブックシーン：プリントedd・マターとソル・ルウィット」**

12月11日(木)13:00-14:00 @EVENT SPACE

登壇者:金澤一志(詩人、文芸批評)

1976年にソル・ルウィットやルーシー・リバードらによって設立されたアーティストブックを専門に扱う書店であり、現在はNY Art Book Fairを主催するPrinted Matter。ソル・ルウィットの回顧展が東京都現代美術館で12月25日から開催される機会にその創設期と当時のニューヨークにおけるアートブックシーンをご紹介します。

**Talk Event「それでもこの話を2人でする—SONGS—ものが語る難民の声」**

12月11日(木)15:00-16:00 @EVENT SPACE

登壇者:ホンマタカシ × いとうせいこう

TABFで開催する「SONGS — ものが語る難民の声」展で、難民のポートレートと「大事なの」を捉えた写真作品などを紹介する写真家・ホンマタカシと、『「国境なき医師団」を見に行く』の著者・いとうせいこうを迎え、難民へ関心と理解を深める対談を繰り広げます。

**Talk Event「Deconstruct, Play, Design: ムナーリとCorraini Edizioni」**

12月12日(金)13:00-14:00 @PLAYGROUND

登壇者:Francesco Costa

ブルーノ・ムナーリ「Toc toc. Bruno Munari 1945: Inside the Books!」展関連トークに、ムナーリの本を多数刊行しているイタリアの老舗出版Corraini Edizioni代表が登壇。今日の作家や出版社にも多大な影響を与えるムナーリの魅力を紐解きます。

**Live Performance「ガラスCrew 5」**

12月13日(土)14:00-15:00 @Sunken Lounge

出演者:中村穰二 x 平山昌尚 x 加賀美健

今年もあの3人のCREWが、師走の最中にMOTのガラスをジャックします。中村穰二、平山昌尚、加賀美健による、今年で5年目のTABF恒例のパフォーマンス。瞬き禁止！かけがえのない瞬間をどうぞおたのしみください。

**Presentation「ゲストカントリー関連企画① Marchette」**

12月13日(土)11:15-12:00 @EVENT SPACE

登壇者:Bruno Ceschel x Anniina Koivu

戦後から現在に至るまで、イタリアの企業がアーティストや写真家、デザイナーとともに本を制作してきた歴史を辿る展示「Marchette」のキュレーターによるトークでは、彼らが本というメディアを通じて文化的な言説をいかに形作り続けてきたかに迫ります。

**Talk Event「雑誌はアートブックに接続できるのか」**

12月14日(日)11:30-12:30 @EVENT SPACE

登壇者:長島有里枝 × 加藤直徳

「NEUTRAL COLORS」は数年にわたり海外のアートブックフェアに参加してきました。日本の雑誌はどうやったらアートブック市場に参入していくのか。その実践を踏まえ、「雑誌カルチャーとは何か?」「そもそも雑誌はまだ生きているのか?」をテーマに語り合います。

**Story Time「穴の空いた絵本のお話」**

12月14日(日)13:30-14:15@Playground

東京都現代美術館では、2026年4月25日(土)から「エリック・カール展 はじまりは、はらぺこあおむし」を開催します。『はらぺこあおむし』をはじめとするページに穴の空いた絵本の読み聞かせのほか、紙に穴をあけるカード作りも行います。

**Talk Event「Exchanges Across Art Book Fairs in Asia」**

12月20日(土)11:30-12:30@EVENT SPACE

登壇者: Renée Ting × Studio150 × 黒木晃 × 東直子

今年、TABFIは数多くのアジア各地のアートブックフェアに参加し、各都市のフェア運営チームと協働する多くの機会に恵まれました。本トークイベントでは、地域を超えたアートブックフェア同士のコラボレーションの可能性や、アジアのアートブック出版シーンの現在をどのように見ているか、それぞれの視点から話し合います。

**Talk Event「中国本土におけるインディペンデント・アートスペースの(不)可能性—揺れ動くオルタナティヴィティー」**

12月20日(土)13:15-14:15@EVENT SPACE

登壇者: Lin Haodong × Ge Ruijing × Zhou Yue × Wang Yiwei

出版を活動の核とする4名が集まり、中国本土におけるインディペンデント・アートスペースの現状を紹介します。各自が独自の取り組みや直面してきた課題を共有しながら、実践から概念へと視点を移し、現状において「オルタナティヴィティ」がいかに展開し、変容しているのかを考えます。

**Talk Event「Who Sells the Some Books?—本を売っているのはだれ?」**

12月20日(土)15:00-16:00@EVENT SPACE

本トークイベントでは、本屋オーナーでありながら選書も手がける三田修平と中村碧宙に、本を仕入れ、販売することの楽しさや難しさ、さらにはもどかしさを伺いながら、作り手と売り手が手を取り合い健全なブックビジネスを創造できるような機会を模索します。

**Workshop「のびる」**

12月20日(土)16:00-17:00@Playground

講師: 駒形あい

造本作家・デザイナーの駒形克己によって1997年頃に確立された代表的なプログラムのひとつ「のびる」を、娘でありデザイナーの駒形あいが引き継いで開催します。赤い三角形が印刷された蛇腹のカードを使って、発想を広げていきましょう。はじまりは同じでも、おわりはいろいろ。それぞれの個性を発揮できるプログラムです。

**Talk Event「書棚の中の建築「建築的な本 architectural book」ってなに?」**

12月21日(日)15:00-16:00@Playground

登壇者: 出原日向子 × 江尻悠介 × 砂山太一 × 中島佑介

建築と書物は相性がよく、設計行為と編集行為が重ねて語られてきました。建築書は書物というメディアをフル活用し、書籍全体を通して建築を表現していきます。さまざまな本を取り上げながら、建築的な本とは何か、建築的な本の作り方とは何かを探ります。

## Live Music Performance

TABF2025では、各週の初日に〈サンクンラウンジ〉にて注目のミュージシャンたちによるライブイベントを開催します。アートブックのみならず開放的な屋外スペースでの音楽ライブもぜひお楽しみください。

〈出演者〉※順不同

WEEK1 12月11日(木) CADEJO (Acoustic Set) ／Khotin／Damons Year

CADEJO(Acoustic Set)



TOKYO ART BOOK FAIR  
Live Music Performance  
December 11 (Thu), 2025

Damons Year



Khotin

WEEK 1

WEEK2 12月19日(金) Summer Eye／ohayoumadayarou／川辺素

TOKYO ART BOOK FAIR  
Live Music Performance  
December 19 (Fri), 2025

ohayoumadayarou



川辺素



WEEK 2

Summer Eye

※想定以上の混雑となった場合は、入場制限がかかる可能性がございます。

※悪天候の場合は中止になる可能性があります。

## Pay with Square, Carry Only Books

 Square | TOKYO ART BOOK FAIR

### Squareによるキャッシュレス決済サポート

TABF2025では、Squareのサポートにより、より多くの出展者がキャッシュレス決済に対応できるようになりました。特に海外拠点の出展者にとっては、日本国内でのキャッシュレス決済の導入は多くのハードルがありました。国内外問わず希望する出展者に電子決済サービスをご利用いただけすることになり、アートブックを作る人と楽しむとの、よりスムーズで、安全なコミュニケーションを可能にします。

また、Squareのキャッシュレス決済を利用する海外拠点の出展者ブースでお買い上げいただいた方に先着順で、TABFとSquareのコラボレーションバッグをプレゼントいたします。(無くなり次第終了となります。)

\* Squareの支援により、サービスの利用を希望する海外拠点の出展者にSquare ターミナルをレンタル提供、国内拠点の出展者には、新規にアカウント登録で、Square リーダーを無償提供いたしました。

\* 会場内すべての出展者がキャッシュレス決済に対応しているわけではありません。現金のご用意も併せておすすめいたします。

プレス画像は、以下よりダウンロードください。

[https://drive.google.com/drive/folders/12pdvJrSGWhdYtv0Qb7uJeWwDxsXOZGD\\_?usp=sharing](https://drive.google.com/drive/folders/12pdvJrSGWhdYtv0Qb7uJeWwDxsXOZGD_?usp=sharing)

URL: <https://tokyoartbookfair.com/>

Instagram: @tokyoartbookfair

X: @tabf\_info

Facebook: @tokyoartbookfair

プレス担当: 鳥海 [press@tokyoartbookfair.com](mailto:press@tokyoartbookfair.com)